

## 飛沫の飛散抑制により有効な、コミュニケーションマスクの使用法

コミュニケーションマスクの透明部分は通気性のないフィルム製であるため、息がしやすいように顎下に隙間を設けていますが、顎下が開いていることで下側へは飛沫が飛散します。

そこで、飛沫の飛散抑制に有効的なマスクの着用方法として、「コミュニケーションマスク+不織布マスク」をご提案します。コミュニケーションマスクは通常通り着用し、不織布マスクは顎下で着用することで表情や口元を相手に伝えつつ、下側への飛沫を抑える効果が期待できます。

